



タウンサポーター

下都賀教育事務所 ふれあい学習情報紙【平成29年10月発行】 第124号

VERY GOOD LOCAL とちぎ

下都賀地区親学習プログラムフォローアップ研修

「親プロマルシェ ～それぞれの市場から好きなプログラムを組み合わせ～」のテーマのもと、「下都賀地区親学習プログラム指導者フォローアップ研修 兼 家庭教育支援者及び家庭教育行政担当者研修」を9月8日（金）に開催しました。

この研修は、「アイスブレイク市場」「メインアクティビティ市場」「ふりかえりとまとめの市場」のグループにまとめた複数の活動例の中から、目的や諸条件に合わせて講座等のプログラムが構成できるように企画しました。参加者は、家庭教育学級や就学時健診など実際の場面を想定しながら、体験やプログラム検討、情報交換を進めました。終始朗らかな声に満ちた和やかな雰囲気の中、参加者の意欲的な姿勢に支えられた研修になりました。

各市町では、家庭教育オピニオンリーダーや家庭教育支援チームなどの団体により、地域に根ざした家庭教育支援の取組が展開されています。活動が一層充実することを願っています。



「ふりかえりとまとめの市場」の説明



家庭教育学級等の支援プログラムの検討

下都賀地区PTA指導者研修II

栃木市大平文化会館・大平公民館を会場として、10月17日（火）に下都賀地区PTA指導者研修IIを開催しました。

前半は、益子町立七井小学校PTA「子どもたちの安心安全な環境づくり」・益子町3中サミット「郷土と中学生を結び付け、地域社会に貢献できる次世代のリーダー育成」の取組について、前PTA会長・前実行委員長の花輪 芳晴 氏より、事例発表をいただきました。

後半は、テーマごとに3つの分科会を設定しました。参加者は、主体的に意見を交換しながら、それぞれのテーマについて考えを深めていました。以下、分科会の感想を紹介します。

- 人権に関する部会「学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを守っていききたいと思いました。」
- 家庭教育に関する部会「現在、まさに子どもの思春期と向き合っているのでも、自分でもいろいろ考えることができました。」
- PTA活動に関する部会「課題や心配事についてグループかつ全体で共有し合えたことがとても良かったです。」



事例発表のようす



分科会のようす

地域をつなぐ

壬生町

10月15日（日）に壬生町保健福祉センターにおいて、「第31回壬生町健康ふくしまつり」が開催され、「ふるふる Mibu JLC」の会員10名が射的とスーパーボールすくいの出店を行いました。

特に射的の出店は経験している会員が多かったため、接客対応が非常に上手になっていました。小さいお子さんに対しては、的の距離を近づけ、的の高さに合わせ抱っこやイスを準備してあげる臨機応変な対応の様子が見られました。当日は、あいにくの雨模様で気温も低い中での出店となりましたが、



「スーパーボールすくい」でのふれあい

景品や参加賞をもらい一喜一憂する来場者の皆さんに最後まで丁寧に対応する会員の姿に頼もしさを感じ、心が温まる行事となりました。

会員達も「小さい子から大人まで様々な人と触れあえて楽しい」「喜んでもらえて良かった」と充実感を得ることができました。今後もメンバー相互の交流は欠かせながら、壬生町の人と人とをつなぐ架け橋となるような活動に取り組んでいきたいです。



昨年の運営経験が生きた「射的」

小山町

10月21日（土）・22日（日）と「まちなか交流まつり」を開催し、54の出展団体に混じて2日間で34名の高校生、15名の大学生がボランティアとして活躍しました。

高校生は出展団体の一員、施設巡回で清掃や整理、ステージの進行役など多様なボランティアに就きました。当日は「災害ボランティアセンター」を模した「まつりボランティアセンター」が立ち、大学生がその世話役をするなか、高校生はボランティアを種類ごと、時間ごとに選び、一日を過ごしました。

高校生が「やりたいボランティア」を自由に選べたらと、13種類ほど用意しましたが、どうしても早い者勝ちにはなってしまいます。彼ら一人一人にとって、たとえ不本意であっても、そこで出会った何かを楽しんでくれたり面白味を見出してくれたりしたら、迎えた私たちとしても嬉しい限りです。



「まちなか交流まつり」に参加した高校生



さまざまなボランティアで力を発揮

ふれあい学習

下都賀

平成27年度より始まった家庭教育学級ですが、今年度で3年目を迎えました。今年度も各小中学校の地域連携教員が中心となり、子育てに関する悩みに少しでも応えられるような様々なテーマを定めて開催しています。

三年目の家庭教育学級

7月5日（水）には、国分寺小学校で「思春期の子どもを理解するために～親学習プログラムで学びましょう～」同日、石橋小学校で「子どもの心の声届いていますか？」をテーマに下都賀教育事務所ふれあい学習課の星課長、鈴木社会教育主事を講師に迎え、家庭教育学級を開催しました。



家庭教育学級「思春期の子どもを理解するために」

同じ悩みを持つ親同士が意見を述べ合い、交流を通し、子どもの気持ちに寄り添う大切さや子どもとの接し方について改めて考える、よい機会になりました。



家庭教育学級「子どもの心の声届いていますか？」

人権週間が近づいてきました

毎年12月10日を最終日とする1週間は「人権週間」と定められています。家庭・学校・職場・地域等それぞれの場において、改めて「思いやりの心」や「かけがえのない命」について見つめる機会としてはいかがでしょうか。

下都賀地区視聴覚ライブラリーには、「人権に関する視聴覚教材」が所蔵されています。下都賀地区在住の方はどなたでも無料で借りることができますので、ぜひ御活用ください。詳細については、同ライブラリー発行の広報「下視ろ」を参照いただくか、ライブラリーに御相談ください。

下都賀地区視聴覚ライブラリー（略称「下視ろ」）
電話 0282-22-3542（栃木図書館内）

- 【小学生低学年～】
- ・むしむし村の仲間たち みんないいところあるんだよ(13分)
 - ・どんぐり森へ(15分)
 - ・おれたちもだち(52分)
- 【小学生高学年～】
- ・ころを育てる映像教材集 義足がくれたもの(15分)
 - ・しらんぷり(21分)
 - ・みんなで跳んだ 城北中学2年1組の記録(28分)
- 【一般】
- ・陽だまりの家(42分)
 - ・ウエルカム！外国人の人権(16分)

下視ろ 人権DVD (新着)



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の再生・充実を目指します。